

風船 キャンドルで追悼

「がんばろう」看板前で「3.11のつどい」

「東日本大震災追悼 3.11のつどい」(実行委員会主催)が3月11日、南浜町3丁目の「がんばろう!石巻」看板前など2カ所で開かれました。来場者全員で震災が発生した午後2時46分に合わせて黙とうした後、鎮魂と明日への希望を込めた白、青、緑3色と鳩型の風船を飛ばしました。日暮れには看板前に「3.11追悼」の文字をかた

どったキャンドルをともし、亡くなった人たちの冥福を静かに祈りました。また、市の追悼式が行われた河北地区以外の石巻、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿の各地区では市役所、総合支所などに祭壇と献花台が置かれ、地区住民らが次々と献花に訪れ、祈りをささげました。



石巻地区(市役所4階庁議室)



白、緑、青の風船が大空へ



桃生地区(桃生総合支所)



雄勝地区(雄勝総合支所仮設庁舎)



「3.11」に浮かび上がったキャンドルの明かり



北上地区(北上保健医療センター)



河南地区(遊楽館)



牡鹿地区(牡鹿保健福祉センター)

地域の困り事の解決に取り組む NPOを知ろう! 参加しよう!

東日本大震災の発生直後から石巻市には全国から数多くのNPOが支援に入り、また、被災者自らもNPOを立ち上げ、復旧・復興に大きな役割を果たしました。そんなNPOは現在、市の抱える地域課題に対しどのような取り組みを行い、今後どのような役割を担っていくのでしょうか? 「石巻市NPO支援オフィス」のゆるキャラ、ロック&ロールと一緒に考えてみましょう。

このコーナーでの「NPO」とは、NPO法人のみならず公益活動を行う社団法人、財団法人、ボランティアグループなどの任意団体も含まれます

● NPOが困り事の解決に必要なわけは?

「石巻市の抱える地域課題」の解決って、市役所がやることじゃないの?

ロック(石) / 市民活動に興味あり

だったら、全部NPOに任せたらいいじゃん?

そうなんだけど、市役所の事業って議会の承認などで時間がかかったり、公平・一律が原則なので効率的でなかったりするんだ。NPOは、ボランティアの協力や助成金などを活用しながら、スピーディーに社会的サービスを提供できるよ。

ロール(巻) / 石巻市NPO支援オフィス相談員

● 石巻市のNPOはどんな活動をしてる?

震災前からの団体もあれば、震災支援で市外から来た団体もあり、石巻市は担い手となるNPOが多様なんだ。「コミュニティ」「子育て」「移動支援」等々、さまざまな困り事に対し、各団体がその専門性を活かして活動しているよ。



残念ながら、住民の皆さんの理解や参加(ボランティア、寄付など)が、なかなか得られないことかな... NPOの役割は、多くの人の参加をもって社会を良くすること。まずは、身近にいるNPOの活動に興味を持って欲しいな。そして、共感できる活動があれば積極的に参加みよう!

● 石巻市NPO支援オフィスについて

石巻市NPO支援オフィスは、市民公益活動団体の支援拠点として、市が平成14年に市総合体育館敷地内に設置しました。会議室や印刷機の貸し出し、団体設立・運営などの相談、講座や交流会の開催など、市民公益活動や自治会活動を応援する施設です。ぜひご利用ください。

☎ NPO法人いしのまきNPOセンター(指定管理団体) ☎23-0851
市地域協働課(内線4237)